



労働運動交流集会2025

レバカレNews

VOL
1

2025.4.30

全労連は、10月11～13日、「労働運動交流集会・レイバー・ユニオン・カレッジ（通称レバカレ2025）」を東京京橋のビジョンセンターで開催します。参加者がつくる75の分科会を中心にした“当事者参加型”の交流集会です。

詳細はこちら▶



レバカレプレ企画 第1回「当事者が立ち上がる瞬間」

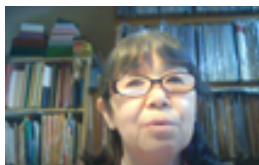
非正規公務員（会計年度任用職員）が直面する雇止めに向かうのか、外食チェーンで働く大学生はなぜ賃上げを求めて声をあげたのか、札幌で活動するコミュニティ・ユニオンに集う仲間は何を求めているのか、全国各地で立ち上がる非正規雇用で働く当事者の実践から学んだ。



アーカイブ
はこちら

たたかう姿を見せることで信頼獲得

名古屋市が会計年度任用職員に対し5年での雇止め公募を実施し、子育て支援センターでは23人中15人以上が不採用に。当事者が勇気を出して声をあげ、記者会見や集会などで訴え、問題化してきた結果、採用枠を25人に増やすことが出来た。当事者が「組合があったからこそ行動に移せた」と語ったと紹介。これまでも改悪提案を跳ね返してきたことが組合への信頼獲得になったと報告した。



建交労愛知県本部
保育パート支部 尾崎好美さん

誠実交渉義務のある団体交渉で労働者の尊厳を奪う会社とたたかう



札幌地域労組
書記次長 桃井希生さん

ひとりの労働相談を個々の相談とせず、職場の問題として解決しようと結成した3つの組合の取り組みを紹介。非正規労働者に対して更新5年上限を設け、無期転換逃れをする会社との交渉では、3万筆の署名を集めたり、24時間の指名ストを実施。いくらでも代わりはいると会社がメッセージを発することは労働者の尊厳を奪うものだとした。

対話で組織化進む

非正規労働者を中心に組織する個人加盟ユニオンが中心になって非正規春闘を2023年にスタートした。スシローの東京の店舗ではストライキを実施し、時給200円引き上げ、率で16.7%の賃上げを実現。諸要求も勝ち取った。職場で対話の条件を探して、相手の不満や要求を聞き出して組織化が進んでいる。地域の組合とのつながりを大切にしている。

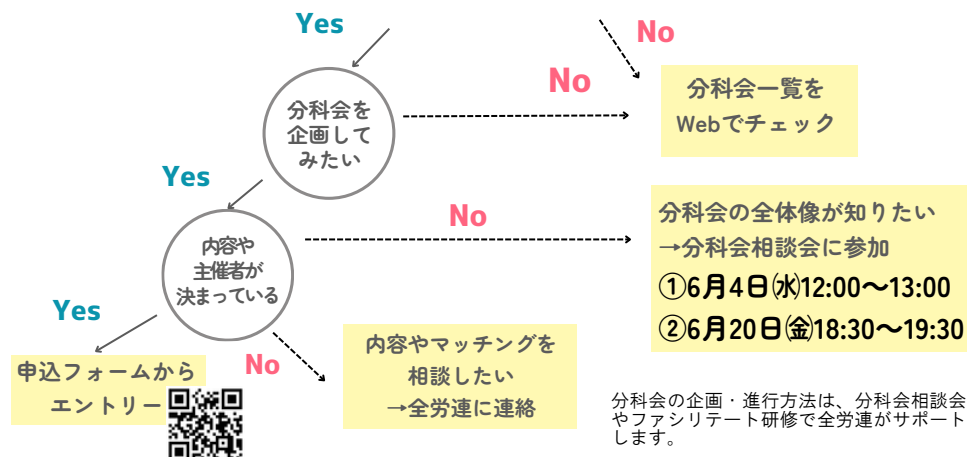


首都圏青年ユニオン
回教寿司ユニオン
吉田帆駆人さん

レバカレは、職場や組合の悩みを持ちより、当事者の経験と実践から学び、対話を通じて運動を深める交流集会です。分科会は参加するだけでなく、話してみたいことなど、自身でテーマを設定して企画することができます。

当事者参加型交流集会とは？ ー分科会エントリー方法

分科会で話してみたい聞いてみたいテーマがある



エントリーされている分科会

解雇・雇止め・労働条件切り下げとたたかう

学生ユニオン交流会

公正な労働のための労働運動展

障がい者と労働組合

職場で賃金闘争をすすめる（企業の財務分析と最賃引き上げの効果）

スシローストライキの表と裏

ストを構える非正規公務員

成果主義を考える

組織化モデルに転換するために

リアル！コーチング道場～コーチング手法を学ぶ

効果的な関係づくりの秘訣

心に届くスピーチとは？

チームづくりの秘訣&実践

実践から学ぶ戦略づくり

参加型会議の作り方

戦略タイムラインをつくる

一人一人の関心を持ち寄るミーティング

組織化モデルに転換するために

対話と学びあいスクール（TMS）第Ⅰ部 無関心を乗り越える

対話と学びあいスクール（TMS）第Ⅱ部 理想的なチームを作る

対話と学びあいスクール（TMS）第Ⅲ部 課題をキャンペーンにする

TMSファシリテーター講座

ハラスメントを許さない職場を作る～第3者介入WS

非正規格差を見える化するWS

非正規春闘

平和のボタン

「ほそぼそ声の組合民主主義」

メディア講座Ⅰ もっと伝わるチラシの作り方

メディア講座Ⅱ 上手な記者会見の方法

メディア講座Ⅲ SNSで魅力を発信

メディア講座Ⅳ 「映える」写真を撮る

模擬団交（要求作りと模擬団交を体験）

ロサンゼルス教員組合のたたかい

若手活動家をどう作るか？

参加申込は、6月2日スタート！

問合せ先：全労連 ☎03-5842-5611/email:luc@zenroren.or.jp